取扱説明書

ハンディプリンタ

PD-22

このたびは、ハンディプリンタPD-22 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本書では、ハンディプリンタPD-22の取り扱い方について説明しています。まず、本書をお読みになり、必要な準備を行ってください。

CITIZEN®

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第B種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従い、正しく取り扱ってください。

ご 注 意

- ご使用前に必ず本書をお読みください。読み終わった後は、大切に保管し、必要なときに読み直しできるようにしてください。
- 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。
- いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写、転用、複写することを禁じます。
- 本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植などに関わらず、当社の一切の責任を負いかねます。
- 本書に指定されている製品以外の別売品や消耗品を使用した場合の結果として発生したトラブルにつきまして、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書で指示している部分以外は絶対に手入れや分解、修理は行わないでください。
- お客様の誤った操作取り扱い、使用環境に起因する損害については責任を負いかねますので、ご了承ください。
- データなどは基本的に長期的、永久的な記憶、保存はできません。故障、修理、検査などに起因するデータの消失の損害、および損失利益などについては、当社では一切責任をおいかねますので、ご了承ください。
- 本書の内容について記載漏れや誤り、不明点などがございましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本文中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。
Copyright © シチズン・システムズ株式会社　2005 年

安全にお使いいただくために

絵表示について

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを次のように区分しています。内容を理解してから本文をお読みください。

⚠危険	人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。
⚠警告	この表示を守らずに、誤った使い方をすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	この表示を守らずに、誤った使い方をすると「障害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

絵表示の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

⃠ 記号は、してはいけないことを表しています。

❗ 記号は、しなくてはならないことを表しています。

プリンタ本体の取り扱い上のご注意

⚠警告

- 万一、発熱している、煙がでている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災の原因となります。すぐに電源を切り、電池を取り外し、サービス窓口へ連絡してください。
- 万一、異物（金属片、水、液体）が製品の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電池を取り外し、サービス窓口へ連絡してください。
  そのまま使用すると火災の原因となります。

⚠注意

- ぐらついた台の上や不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてケガの原因になることがあります。
- 次のような場所での使用や保管はしないでください。故障の原因となります。
  ・日の当たる自動車内、直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど。
  ・温度や湿度の高い、低い、また変化の激しい場所。
  ・ホコリの多い場所。
  ・水などの液体がかかる場所。
- 落としたり、強いショックや振動を与えないでください。故障および破損の原因になります。
- 異物を入れないでください。故障の原因になります。
- お手入れに揮発性の液体（シンナー、ベンジンなど）やぬれ雑巾などを使用しないでください。変質したり、色が変わったりします。お手入れは、乾いた柔らかい布をご使用ください。
- 印字中または印字待機中は、プリンタを移動させたり、振動や衝撃を加えないでください。電源が切れ、印字データが失われる恐れがあります。

プリンタ本体のご使用上の注意

⚠警告

- 印字用紙を交換するときに印字ヘッドやペーパーカッターに触れないように注意してください。印字ヘッドが熱くなっているときは、やけどする恐れがあります。またカッター部で手などをケガする恐れがあります。

⚠注意

- 指定以外の印字用紙をご使用になると、印字品質が落ち、印字ヘッド（印字する部分）の寿命が短くなることがあります。
- 印字用紙がない状態で、空印字をしたり、用紙送りボタンを押したりしないでください。印字ヘッドの熱でプラテン（ローラー部）を変形させたり、プラテンとの摩擦で印字ヘッドを傷めたりします。
- 印字ヘッドを鋭利なものや堅いものでたたいたり、こすったりしないでください。
- 結露した（露がついた）ときは、必ず印字ヘッドを十分に乾かしてから印字してください。結露したまま印字すると印字ヘッドを傷める恐れがあります。
- アルカリ乾電池、充電式ニッカド電池、充電式ニッケル水素電池以外は使用しないでください。
- お使いになる電池は、４本とも同一タイプのものを使用してください。

充電式電池のご使用上の注意

⚠危険

- 充電式電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますのでこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 充電式電池はプラス、マイナスの向きが決められています。本体に装着する時は、プラス、マイナスの向きを確かめてください。電池が漏液、発熱、破裂する原因となります。
- 充電式電池は次のことを守らないと漏液、発熱、破裂する原因となりますので、下記のことを必ずお守りください。
  - 火の中に投入したり、加熱しない
  - 外装チューブをはがしたり、キズをつけない
  - ハンダ付けしない
  - 強い衝撃を与えたり、投げつけない
  - プラスとマイナスを針金などの金属類で接続しない
- 充電式電池を分解、改造しないでください。分解、改造を行うと漏液、発熱、破裂する原因となります。

⚠警告

充電式電池の液が皮膚や衣類に付着したときは、皮膚障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

充電式電池のご使用上の注意

⚠警告

- 本機に乾電池または充電式電池を入れる前に、電池の被覆がはがれていないこととキズがないことをご確認ください。
  長期間同一の電池をご使用になる場合は特にご注意ください。
- 電池表面の被覆に「はがれ」、「キズ」のあるものは使用しないでください。
  電池がショートして、漏液、発熱、破裂の原因となります。
- 電池表面の被覆をはがしたり、キズつけたりしないでください。
  電池がショートして、漏液、発熱、破裂の原因となります。
- 古い電池と新しい電池、種類、メーカーの異なる電池を同時に使用しないでください。
- 充電式電池をご使用になる場合は、充電状態の異なる電池を同時に使用しないでください。
- 充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電して使用しないでください。

⚠注意

- 充電式電池を水や海水につけたり濡らさないでください。水に濡らすと電池が発熱したり、サビの原因となります。
- 充電式電池を高温の場所で使用・放置をしないでください。高温の場所で使用・放置をすると、電池が漏液したり、性能や寿命を低下させる原因となります。
- 充電式電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。また乳幼児が電池を取り出さないように注意してください。
- 充電器は各電池の仕様に適したものを使用してください。
- 充電式電池を初めて使用される場合は、必ず充電してからご使用ください。
- 充電式電池を使用している機器は使用後、必ずスイッチを切ってください。
  電源を入れたまま長時間放置すると電池が漏液する原因となります。
- 長時間使用しない場合は、充電式電池をプリンタ本体から取り外しておいてください。
- 万一、使用中に発熱している、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常を感じたら、①火傷に注意して、速やかに本体の電源を切り、電池を取り出してください。②お買い上げの販売店またはサービス窓口へ連絡してください。
  放置すると火災や火傷の原因となります。

不要となった充電式電池はリサイクル協力店にお持ちください。

専用 RS-232C ケーブルご使用上の注意

⚠警告

- 本製品に片方のコネクターを接続した状態で、もう一方のコネクターの金属部分に触れないでください。

⚠注意

- 静電気により本製品の内部回路が壊れる恐れがあります。
- 本製品にケーブルを巻きつけたまま長時間放置しないでください。断線、変色の恐れがあります。

感熱紙（印字用紙）のご使用上の注意

⚠注意

- 印字用紙の種類により印字の濃度が変わります。印字濃度は、コマンドリファレンスの印字濃度設定命令で調整します。詳しくは、コマンドリファレンス（別紙）を参照してください。
- 複写タイプの印字用紙を使用する場合、コマンドリファレンスの印字用紙設定命令で2枚複写用紙に設定してください。詳しくは、コマンドリファレンス（別紙）を参照してください。
- 複写タイプの印字用紙を使用する場合、まれに 1 枚目と 2 枚目の用紙がずれ、印字がかすれることがあります。このような場合、もう一度最初から印字をやり直してください。
- 感熱紙をご使用になるとき、次のことにご注意ください。感熱紙が変色、変質、印字が薄くなります。
  - 印字された感熱紙を明るい光に長い間当てないでください。
  - 高温、湿気、液体、日光は避けてください。
  - 印字された感熱紙を台紙に貼って保存する場合、揮発性有機溶剤を含んだノリ、接着剤、接着テープは使用しないでください。
  - 長期保存する場合は、高保存タイプの感熱紙をご使用いただくか、複写機でコピーして保存いただくことをお勧めします。
  - 塩化ビニールのフィルムなどに長期接触させないでください。
  - アンモニアを避けてください。アンモニアを用いる複写機でコピーした紙には、近づけないでください。
  - 感熱紙の印字面（印字する面、または印字されている面）に手の汗や油をつけないようにしてください。
  - 感熱紙を保存する場合、平均気温 25℃以下、湿度 65%以下の暗所に保存してください。

感熱紙（印字用紙）のご使用上の注意

⚠注意

- ロール紙をご使用になる場合、排出された用紙がロール形状になるため単票用紙の挿入口に入らないようにご注意ください。
- 印字品質については、用紙の厚さが80μm以上になると印字品質が保証できない場合があります。

印字用紙取り付け時のご注意

⚠注意

- 印字用紙は印字（サーマル）ヘッドから排出されたところで用紙がまっすぐにセットされていることを確認してから印字してください。曲がっていると用紙ジャムの原因になります。
- 用紙の曲がり挿入を防止するため、用紙の先端は次のような形状にしてください。

目次

安全にお使いいただくために 3
プリンタ本体の取り扱い上のご注意 4
プリンタ本体のご使用上の注意 4
充電式電池のご使用上の注意 5
専用 RS-232C ケーブルご使用上の注意 7
感熱紙（印字用紙）のご使用上の注意 7
印字用紙取り付け時のご注意 8

付属品・オプション品について 10
各部のなまえとはたらき 11
電源について 14
電池の入れ方 14
電池の外し方 16
電源のオン／オフ 17
オートパワーオフ機能について 17

接続のしかた 18
データ受信の方法について 18
受光部（光通信インターフェース）で接続するとき 18
シリアルポート（ケーブル）で接続するとき 19

用紙の入れ方 20
ロール紙のセット 20
単票紙（カット紙）のセット 22

印字テストのしかた 23
自己印字機能 23
HEX ダンプ機能 24
内部設定一覧印字機能 24

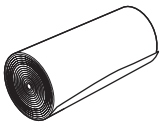
お手入れのしかた 25
故障かな？と思ったら 26
仕様 27

付属品・オプション品について

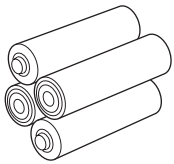
付属品

本製品の梱包箱を開けると、プリンタ本体および付属品が入っていますので、内容をご確認ください。

取扱説明書（本書）



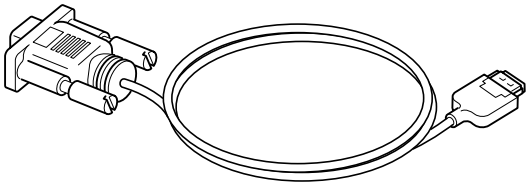
ロール紙
（φ30mm／約10m）



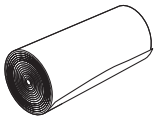
単3形アルカリ乾電池

オプション品

本製品は、次の別売品が用意されています。お客様の用途に合わせ、お買い求めください。

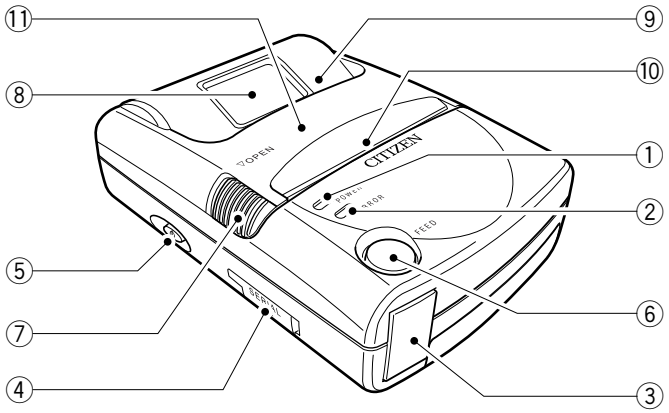


RS232Cケーブル（D-sub9ピン）
（型番：PD79901-0S）



ロール紙
（φ30mm／約10m）

各部のなまえとはたらき



① 電源 LED（POWER：緑）

電源ボタン（ ⏻ ）を２～３秒押し続けると、点灯（緑色）します。
また、本製品の状態によって点滅表示になります。（エラー表示内容を参照）
電池残量が少なくなると、LED が遅く点滅します。電池を交換してください。

② エラー LED（ERROR：赤）

下記のような状況で印字できないときに点灯、または点滅します。

エラー内容	電源 LED（緑）	エラー LED（赤）
電池残量が少ないとき	点灯 消灯	消灯
用紙がないとき（なくなったとき）	点灯	○●○●○●○●
用紙セット後のオフライン状態*1	点灯	点灯 ●
印字ヘッドが熱くなったとき	点灯 消灯 点灯 消灯	点灯 消灯 点灯 消灯
紙送りモータが熱くなったとき	点灯	点灯 消灯 点灯 消灯
ブラックマーク（P.12）を検出できなかったとき	点灯 消灯 点灯 消灯	消灯 点灯 消灯 点灯
ロール紙カバーが開いているとき	点灯	点灯 ●○●
ハードウェアエラー	消灯	点灯

時間軸 ⟶ ○ 点灯、 ● 消灯

※ 1: プリンタ内部設定の「紙無し解除時オフライン動作」（P.24 参照）が「有効」の時のみ表示されます。

エラー内容表示

③ 受光部
光通信により印刷するときのデータを受信します。

④ シリアルポート
RS-232C 専用ケーブル（別売）を接続して印刷するときにケーブルを接続します。

⑤ 電源ボタン（ ⏻ ）
プリンタの電源を入れたり、切ったりします。
電源を入れるときは、電源 LED が点灯するまで（2 ～ 3 秒）押し続けてください。

⑥ FEED ボタン（用紙送り／エラー解除）
ボタンを押している間、用紙が送られます。ただし、用紙がプリンタに挿入されていない場合、用紙送りは動作しません。

⑦ カバーオープンボタン
カバーを開くときにボタンをスライドさせます。ロール紙をセットするときにカバーを開きます。

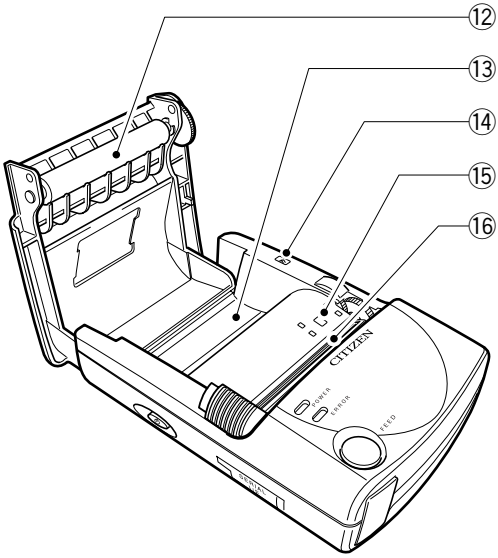
⑧ 用紙確認用窓
ロール紙がセットされているかを確認します。

⑨ 単票用紙挿入口
単票用紙（カット紙）を挿入し、セットします。

⑩ 用紙排出口／ペーパーカッター
印字した用紙が排出されます。また、排出口にはカッターが付いていますので、ロール紙に排出したあとに用紙を切り離します。

⑪ ロール紙カバー
ロール紙をセットするときに開いたり、閉じたりし、カバーとなります。

本体内部



⑫ 紙送りフィードローラー
用紙を排出口へ送り込みます。

⑬ ホルダー部
ここにロール紙をセットします。

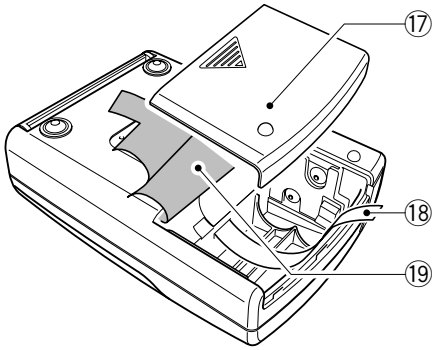
⑭ カバーオープン検出センサー
ロール紙カバーの開閉を検出します。

⑮ ペーパーエンド／ブラックマーク検出センサー
用紙の有無を検出します。

■ブラックマークについて
あらかじめ用紙の印字面側に印刷された黒いマークです。
ブラックマーク位置を検出後に任意の紙送りを行えますので、用紙カット位置の検出の精度を上げることができます。

⑯ 印字（サーマル）ヘッド
印字する部分です。

本体裏面



⑰ 電池カバー
カバーを開けて、電池をセットします。（P.14 参照）

⑱ バッテリーリリースレバー
電池をとりはずすときは、上方に引き上げてください。

⑲ 電池保護シート
本体にセットする電池の表面を保護します。

電源について

本製品は、単３形タイプの電池４本でのみで動作します。
ここでは、電池の入れ方、電源について説明します。

電池の入れ方

使用できる電池

本製品は以下の電池が使用できます。セットする電池は、4本とも同一タイプのものをお使いください。

・単３形アルカリ乾電池
・単３形充電式ニッカド電池
・単３形充電式ニッケル水素電池

上記以外の電池は使用しないでください。故障の原因となる可能性があります。

電池使用時のご注意

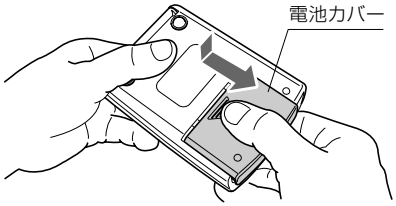
- 本機に乾電池または充電式電池を入れる前に、電池の被覆がはがれていないこととキズがないことをご確認ください。また、充電式電池の取り外し、取付けの際は、電池の被覆にキズが付かないよう取り扱いに充分注意してください。長期間同一の電池をご使用になる場合は、特にご注意ください。
- 長時間ご使用にならない場合は、本製品から電池をはずしておいてください。電池の液漏れの原因となることがあります。
- 本製品は印字内容により、消費電力が大きく変わります。
  長期間保存した電池や消耗した単3形アルカリ乾電池などをお使いのときは、印字が薄くなったり、電池残量エラー（P.11）が表示されずに本製品の電源が切れる場合があります。
- 単3形アルカリ乾電池はメーカーや使用温度（特に低温時）及び電池の製造日からの経過時間によって寿命が短くなる場合があります。

充電器について

充電式ニッカド電池、または充電式ニッケル水素電池をご使用になる場合は、各電池の仕様に適した市販の充電器をお買い求めください。

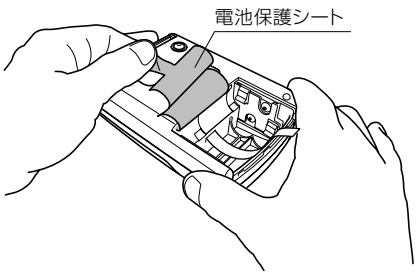
付属の単３形アルカリ乾電池４本を用意してください。
電池を交換するときも次の手順で作業してください。

1 電池カバーを下方向にスライドさせ、開きます。



2 電池保護シートのリリース部（緑色）を引き上げます。

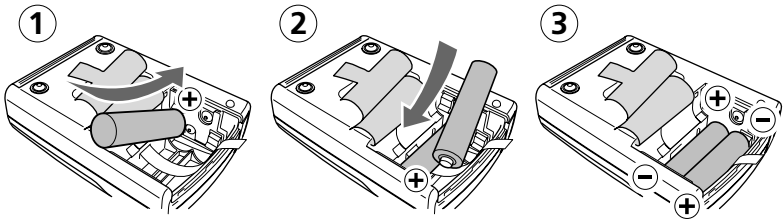
※ 電池保護シートは、強く引き上げないでください。破損する可能性があります。



3 図のように「＋」「－」の向きをあわせて電池を下段に２ 本セットします。

※各電池は、必ず「+」側から先にセットしてください。「－」側からでは入りません。

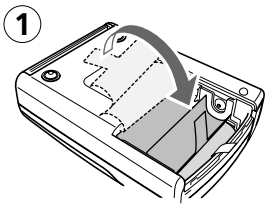
※電池は一本づつセットしてください。

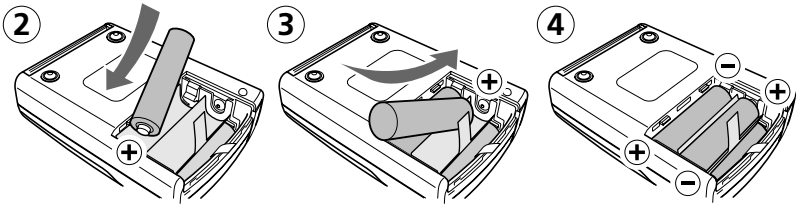


4 電池保護シートをもとに戻し、図のように「+」「−」の向きをあわせて、電池を電池保護シート上に２本セットします。

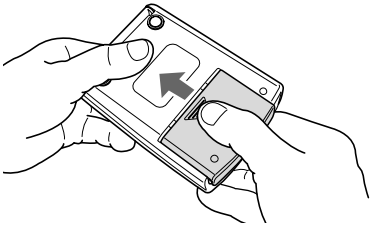
※各電池は、必ず「+」側から先にセットしてください。「−」側からでは入りません。

※電池は一本づつセットしてください。





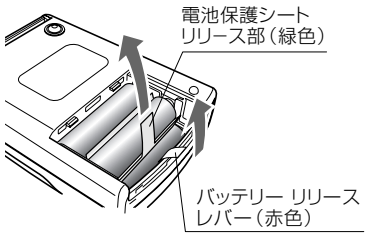
5 電池カバーを下から上方向へスライドさせ、閉じます。



電池の外し方

はじめに電池保護シートのリリース部（緑色）を引き上げて、上部２本の電池を取り出し、次にバッテリーリリースレバー（赤色）を引き上げて、下部２本の電池を取り外してください。

※電池保護シートは、強く引き上げないでください。破損する可能性があります。

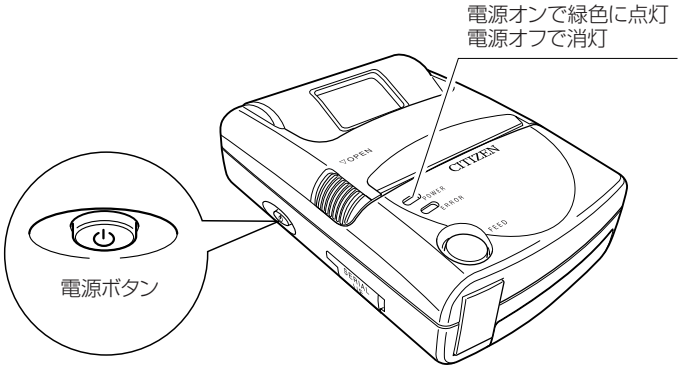


電池保護シートが外れてしまった場合は、お買い上げ販売店またはサービス窓口へ連絡してください。外れた状態で使用した場合、電池がショートして漏液、発熱、破裂の可能性があります。

電源のオン／オフ

電源ボタン（ ⏻ ）を２～３秒押し続けて、電源を入れます。
・電源 LED が緑色に点灯します。
・用紙がセットされていないときは、エラー LED が赤色に速く点滅します。

もう一度電源ボタン（ ⏻ ）を押して、電源を切ります。
・電源 LED が消灯します。



オートパワーオフ機能について

本製品は、次のような操作が一定時間行われないとき、電池節約のため自動的に電源が切れます。（工場出荷時は３分で切れるように設定されています。）
・データ受信がないとき
・FEED ボタン（用紙送り／エラー解除）の操作がないとき

オートパワーオフ機能で、電源が切れたときは、再び電源ボタン（ ⏻ ）を入れ直してください。

接続のしかた

データ受信の方法について

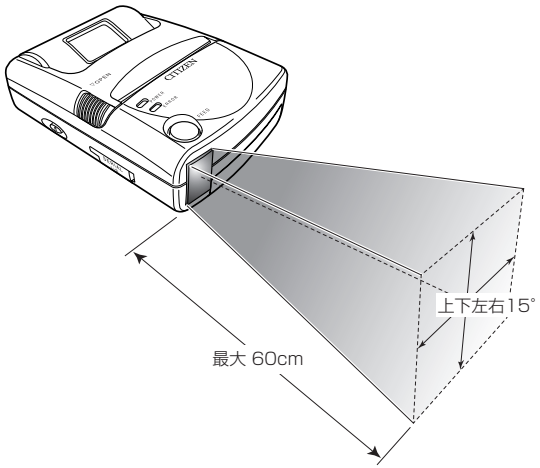
本製品は、印字データなどを受信するインターフェースとして、シリアルポートと受光部（光通信インターフェース）の２種類があります。両インターフェースの切り替えは、シリアルポートに接続する専用RS-232Cケーブルの有無により自動判別されます。本製品の電源を入れたときに専用RS-232Cケーブルが接続されていた場合のみ、シリアルポートによる通信になります。

■ 受光部（光通信インターフェース）で接続するとき

1 **本製品および接続する機器の受光部をまっすぐに向き合わせます。**

※ 上下左右 15° の角度まで通信が可能です。

※ 本製品と接続する機器の間を遮へいすることがないようにしてください。
遮へいすると、正しくデータを送ることができません。



- 直射日光や蛍光灯などの光の強い場所で通信を行うと、データを正常に受信できない場合があります。
- 保存温度外で長時間プリンタを放置したあと通信を行うと、データを正常に受信できない場合があります。
- 通信距離については、ご使用になる機器や周囲の条件により異なり、仕様接続範囲内でも接続できない場合があります。また受光部から 10cm 以内では、接続できない機器もあります。
- 他の赤外線機器と隣接して使用すると通信エラーを起こすことがあります。

■ シリアルポート（ケーブル）で接続するとき

別売の専用 RS-232C ケーブル（PD79901-0S）をご用意ください。

1 本製品および接続する機器の電源を切ります。

2 本製品のシリアルポートにケーブルのコネクターをまっすぐ差し込みます。

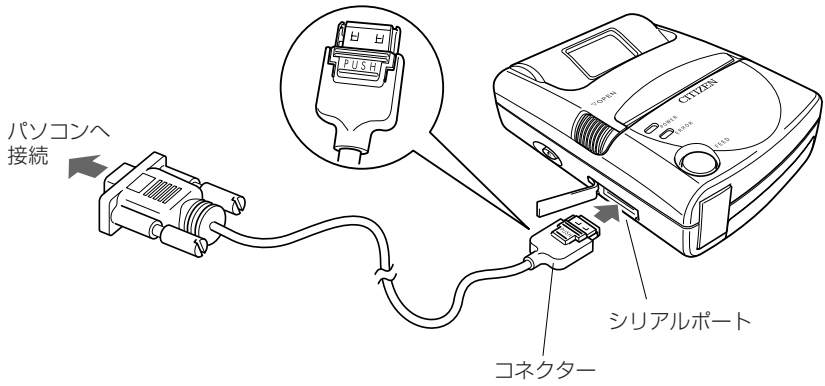
※ 上下逆向きに接続しないように注意してください。（コネクターに“PUSH”と印刷されている面が上になります。）無理に接続しようとすると故障の原因になります。

※ コネクターをはずすときは、“PUSH”部を押しながら抜いてください。

3 ケーブルのもう一方を接続する機器のシリアルポートに接続します。

4 本製品および接続する機器の電源を入れます。

※ 本製品の電源を入れたときにケーブルが接続されていた場合のみ、シリアルポート（専用 RS-232C ケーブル）による通信になります。



接続ケーブルご使用上の注意

- 本製品に片方のコネクターを接続した状態で、もう一方のコネクターの金属部分に触れないでください。
- 静電気により本製品の内部回路が壊れる恐れがあります。
- 本製品にケーブルを巻きつけたまま長時間放置しないでください。断線、変色の恐れがあります。

用紙の入れ方

ロール紙のセット

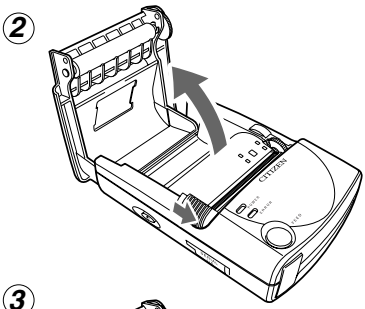
1 **本製品の電源を入れます。**
※用紙がセットされていない場合、エラーランプが点滅します。

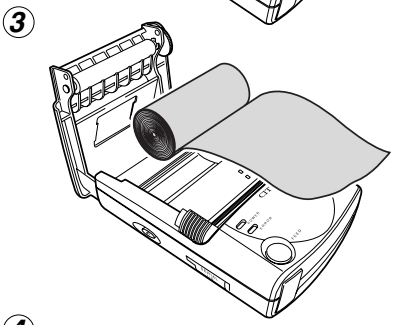
2 **カバーオープンボタンを手前にスライドさせ、カバーを開きます。**

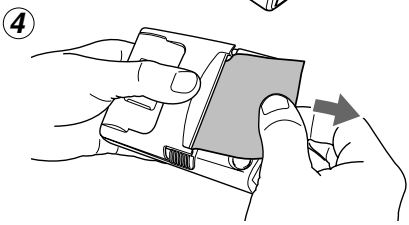
3 **図にように用紙の先端が手前にくるようにロール紙をホルダー部に置きます。**

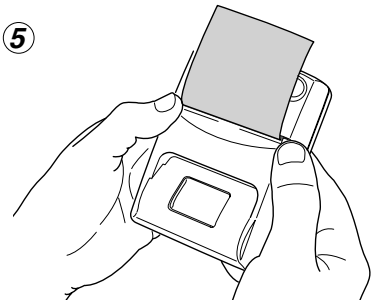
4 **用紙の先端を用紙排出部から少し出るようにして、カバーを手前に倒します。**
※ 使用途中のロール紙は、たるみを取ってからカバーを閉めてください。用紙ジャムの原因となることがあります。

5 **カバーを両手で確実に閉めます。**







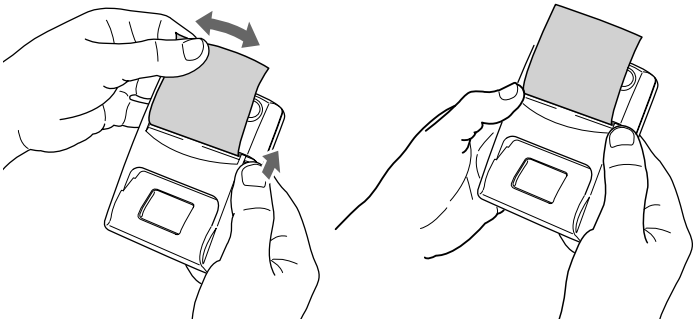


プリンタ内部設定の自動給紙動作設定が「有効」の場合、自動的に用紙をローディングします。

カバーが確実に閉まっていることを確認してください！

■ 用紙が曲がって入ったとき

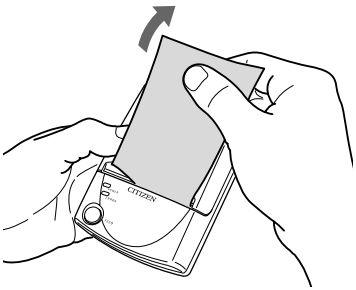
カバーオープンボタンをスライドさせると、用紙が手で動くようになります。
用紙が真っ直ぐになったことを確認してカバーを確実に閉めてください。



印字中に排出された用紙が単票用紙（カット紙）挿入口に入らないように注意してください。

■ 印字が終了したら

ロール紙で印字が終了したら、用紙排出口から排出された用紙をペーパーカッターに沿うように、斜めにゆっくり引っ張ります。用紙がカットされます。



ペーパーカッターに触れないように注意してください。カッター部で手などをケガする恐れがあります。

単票紙（カット紙）のセット

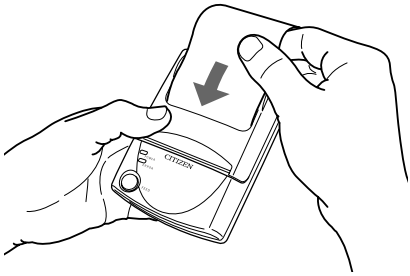
1 本製品の電源を入れます。

※ ロール紙カバーが閉じていることを確認します。

※ 用紙がセットされていない場合、エラーランプが点滅します。

2 図のように単票用紙挿入口に用紙を斜め後ろ方向から差し込みます。

※ 用紙が自動的に 15mm 程度吸い込まれ、エラーランプが消灯し、印字可能状態になります。



プリンタ内部設定の自動給紙動作設定が「有効」の場合、自動的に用紙をローディングします。

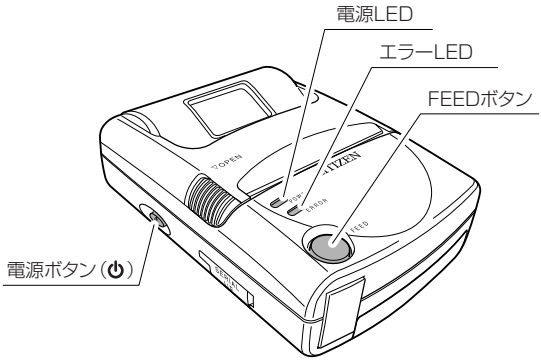
カバーが確実に閉まっていることを確認してください！

■ 単票紙（カット紙）の推奨指定紙は次のとおりです。

1 枚紙　　：TF50KS-E2C（日本製紙）
複写紙　　：TLC#25 黒（内外カーボンインキ）
専用ラベル紙：HW54S（日本製紙）

印字テストのしかた

本製品の設定状態や正しく動作しているかを印字テストで確認することができます。



自己印字機能

1 用紙をセットした状態で電源ボタン(⏻) とFEEDボタンを同時に押し続けます。

2 電源LEDとエラーLEDが同時に点滅を始めたら電源ボタン（ ⏻ ）を離します。

3 電源LEDとエラーLEDが交互点滅に変わったら、FEEDボタンを離します。

4 FEEDボタンを押すと自己印字を開始します。

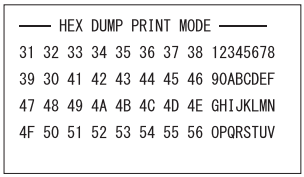
※ 自己印字終了後、再びFEEDボタンを押すと再度自己印字を行うことができます。

```
PD22 SELF-PRINT

ROM  : CK00-0101  2001-09-23
FIRM : CK00-01XX  2001-09-23
CG   : CK00XX01   2001-08-31
BOOT : CK00-000E  2001-08-24


HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
  !"#$%&'()*+,-./01234
!"#$%&'()*+,-./012345
"#$%&'()*+,-./0123456
#$%&'()*+,-./01234567
$%&'()*+,-./012345678
%&'()*+,-./0123456789
&'()*+,-./0123456789:
'()*+,-./0123456789:;
()*+,-./0123456789:;<
)*+,-./0123456789:;<=
亜唖娃阿哀愛挨姶葵茜穐悪握渥旭葦
芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或粟袷
安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉囲夷委
威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣
謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢逸稲茨
```

HEX ダンプ機能

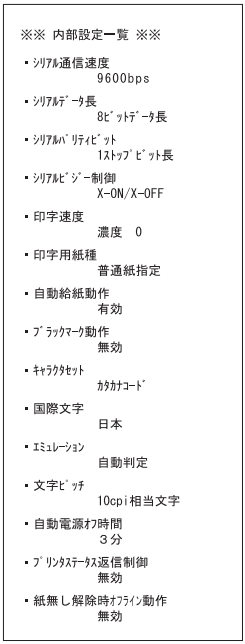
HEX ダンプ機能は、送っているデータが正しいかどうかを判断する際に使用します。

1. 用紙をセットした状態で電源ボタン（⏻）とFEED ボタンを同時に押し続けます。
2. 電源 LED とエラー LED が同時に点滅を始めたら電源ボタン（⏻）を離します。
3. 電源 LED とエラー LED の交互点滅が低速→中速の交互点滅に変わりますので、中速交互点滅に変わったら、FEEDボタンを離します。
4. FEED ボタンを押すと HEX ダンプ機能になります。



内部設定一覧印字機能

1. 用紙をセットした状態で電源ボタン（⏻）とFEED ボタンを同時に押し続けます。
2. 電源 LED とエラー LED が同時に点滅を始めたら電源ボタン（⏻）を離します。
3. 電源 LED とエラー LED の交互点滅が低速→中速→高速の交互点滅に変わりますので、高速交互点滅に変わったら、FEED ボタンを離します。
4. FEEDボタンを押すと内部設定の印刷を開始します。
   ※ 内部設定印字終了後、自動的にパワーオフします。

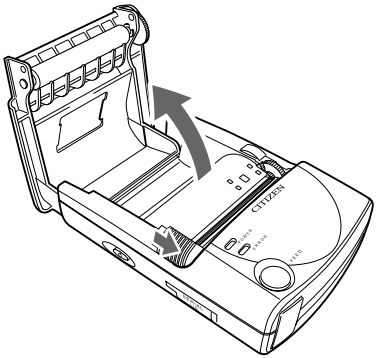


お手入れのしかた

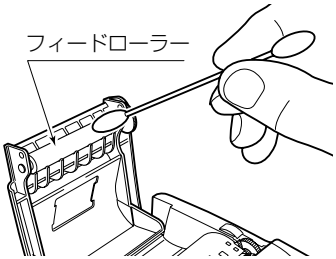
プリンタ内部で用紙が詰まった場合などは、用紙を取り除き、掃除をしてください。

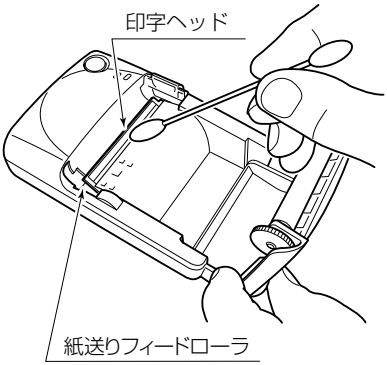
1 本製品の電源を切ります。

2 カバーオープンボタンを手前にスライドさせ、カバーを開きます。



3 紙送りフィードローラーや印字（サーマル）ヘッドは綿棒などで汚れや紙粉などを掃除します。





- ヘッドは絶対に硬いものなどで触れないでください。故障の原因となることがあります。
- 印字ヘッドが熱くなっているときは、やけどする恐れがあります。少し時間をおいてから作業をしてください。
- ヘッド部および紙送りギア部への異物混入は、故障の原因となることがあります。
- 本体を落下させると故障の原因となります。お取り扱いには十分ご注意ください。

故障かな？と思ったら

次のような場合は、故障ではないことがあります。故障と思う前にお確かめください。

現　象	原　因	処　置
動作しない	● 電源が入っていない。 ● 電池の「+」「−」が逆になっている。 ● 電池の残量が少ない。 ● 充電式電池の場合、充電が不十分です。	● 電源ボタン（ ⏻ ）を入れてください。 ● 電池を正しい向きに入れ直してください。 ● 電源を新しいものにすべて交換してください。 ● 充電式電池の場合は充電をしてください。 ● 再充電してください。
用紙が送れない	● ギア部に異物が付着している。	● 異物を取り除いてください。
印字命令を実行するとエラーになる	● 本製品と機器がケーブルで正しく接続されていない。 ● 電源が入っていない。 ● 本製品に用紙が詰まっている。	● 本製品と印字命令を出す機器を専用 RS-232C ケーブルで正しく接続してから、本製品の電源を入れてください。 ● 電源を入れる。 ● ロール紙カバーを開け、詰まっている用紙などを取り除いてください。
光通信で印字できない	● 距離が近い、または離れすぎている。 ● 送受光部がまっすぐ向き合っていない。	● 両者の距離を調整し、仕様距離範囲内にセットしてください。(P.18) ● お互いの送受光部をまっすぐに向き合わせてください。

仕　様

項　目	性　能
印字方法	ダイレクトラインサーマル方式
実行印字速度	1 枚紙　：300 ドットライン／秒（最大） （1 ライン 64 ドット以下） ※バッテリー満充電、かつ高速印字モード時の印字速度 2 枚複写紙 ：100 ドットライン／秒 （1 ライン 64 ドット以下） ※バッテリー満充電、かつ高速印字モード時の印字速度
印字ヘッド	総ドット数　：384 ドット／ 1 ドットライン ドットピッチ ：8 ドット／ mm 印字幅　：48mm 寿命　：5,000万パルス（印字率12.5%、常温、定格エネルギー） 但し、異物混入によるヘッド損傷の場合を除く 耐磨耗性　：推奨指定紙 30Km 以上／複写紙（オリジナル＋ 1 枚） 10Km 以上
印字方向	ポートレート　：通常印刷モード（データを受信しながら印刷） ページモード　：1 ページ分のデータを受信してから印刷 ランドスケープ：ページモードのみ
エミュレーション	ESC/P コマンド準拠　バーコードコマンド（ESC/POS 互換）
フォント	漢字コード ：JIS X 0208-1990 準拠 JIS コード、シフト JIS コード NEC 社選定 IBM 拡張漢字文字
書体種類	漢字、ANK、ゴシック体
印字桁数	全角：16 桁／ 24 ドット　半角：32 桁／ 12 ドット ただし、上記の印字桁数は各文字のドット構成サイズ間のスペースが 0 の場合 21 桁（10CPI）、25 桁（12CPI）、32 桁（15CPI）、36 桁（17CPI）
ドット構成	全角：24H × 24V　半角：12H × 24V ASCII キャラクター（ESC/P のみ使用可能） 18H × 24V（10CPI）、15H × 24V（12CPI） 12H × 24V（15CPI）、10.5H × 24V（17CPI）
バーコード種	UPC-A、UPC-E、JAN13(EAN)、JAN8(EAN)、ITF、CODABAR、CODE39、CODE128

仕　様

項　　目	性　　能
印字用紙 1）用紙送り方法 2）用紙幅 3）用紙コース 4）用紙種類 5）推奨指定紙	 フリクションフィード 58 $^{0}_{-1}$ mm リア（クラムシェル） 単票紙（カット紙）／連続紙　1枚紙または複写紙（オリジナル＋1枚） （ただし、複写連続紙は折りたたみ紙のみサポート） 1枚紙　　：TF50KS-E2C（日本製紙） 複写紙　　：TLC#25 黒（内外カーボンインキ） 専用ラベル紙：HW54S（日本製紙） ※ロール紙巻き径：最大外径φ 30mm ：巻き始め最小径φ 8mm ※巻き始めの用紙先端部に折りかえしやのり付けがないこと
インターフェイス	光通信インターフェース＜IrDA 方式　1.0 準拠＞ シリアルポート＜RS-232C 方式＞専用ケーブル（別売り）
IrDA I/F	転送速度：最大 115200 bps
シリアルポート	転送速度　：4800、9600、19200、38400、57600、115200 bps パリティ　：偶数、奇数、なし データ長　：7または8 bit ストップビット：1または2 bit
IR 通信可能距離	プリンタとパソコン本体の送受光部を平行に向かい合わせて直面させた場合、およびプリンタ受光部に対してパソコン本体の送信部の角度が上下± 15°左右± 15° IrDA：最大 60cm 以下（ただし、使用されるパソコン本体及び環境条件によって異なる場合があります。）（18 ページ参照）
受信バッファサイズ	64KB
LED 色	電源 LED：緑色　エラー LED：赤色
使用電源	単3形乾電池4本使用（アルカリ乾電池／充電式ニッカド電池／充電式ニッケル水素電池） 供給電圧 乾電池　アルカリ乾電池　：DC 6.0V 充電式電池　充電式ニッカド電池　：DC 4.8V 充電式ニッケル水素電池　：DC 4.8V

項　目	性　能
電源チェック機能	オートパワーオフ機能、ローバッテリー検出機能
印字可能行数	ASCII 文字のスライドフル桁印字（6LPI） 充電式電池：9,000行～10,000行（条件：満充電、濃度0、温度25℃） アルカリ電池：7,000行～8,000行（条件：未使用、濃度0、温度25℃） 印字可能行数は、電池のメーカーや使用温度及び電池の製造日からの経過時間によっても異なります。 上記の行数は目安であり、保証するものではありません。
環境条件	動作保証温度　：0℃～45℃ （アルカリ乾電池／充電式ニッカド電池／充電式ニッケル水素電池） 印字保証温度　：15℃～40℃（アルカリ乾電池） ：5℃～40℃（充電式ニッカド電池／充電式ニッケル水素電池） 保存時温度　：－20℃～60℃ 動作時湿度　：30%～90%RH（結露なきこと） 保存時湿度　：30%～90%RH（結露なきこと）
適合規格	VCCI クラス B
消費電力（最大定格）	8 W（アルカリ乾電池）、7 W（充電式ニッカド電池／充電式ニッケル水素電池）
外形寸法	77.4(W)× 108.3(D)× 35.4(H)mm
重量	本体（単３形アルカリ乾電池４本含む）215 g 以下
付属品	取扱説明書、単3形アルカリ乾電池4本、ロール紙φ 30mm（約 10m）
別売品	RS-232Cケーブル（D-sub9ピン／型番：PD79901-0S）、ロール紙

保証規定

つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。

① 誤ったご使用または取扱いによる故障または損傷。
② 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
③ 火災、地震、水害、異常電圧、指定以外の電源およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。
④ 保証書のご提示がない場合。
⑤ 保証書にお買い上げ日、保証期間、販売店などの記載の不備な場合あるいは語句を書き換えられた場合。
⑥ ご使用後の外装面のキズ、破損、外装部品、附属品の交換。
※お買い上げ店にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。

● 修理及びサービスに関するお問い合わせ先:お買い上げの販売店又は弊社消費者センター
(住所 〒188-8511 東京都西東京市田無町6-1-12　TEL 0424-68-4747、FAX 0424-68-4998)
● 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
● 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

発売元 CITIZEN シチズン・システムズ株式会社
本社　〒188-8511　東京都西東京市田無町6-1-12
TEL.(0424)68-4771　FAX.(0424)68-4740

▶販売店様へお願い：保証期限などの記載事項を必ずお確かめください。

保証書 持込修理

このたびは、シチズン ハンディプリンタPD-22をお買い上げいただきまして有り難く厚く御礼申し上げます。この製品が、取扱説明書にもとづく通常のお取扱いにおいて、万一保証期間内に故障が生じました場合は、本保証書を現品に添えてお買い上げの販売店にご持参くだされば、保証期間内に限り無料にて修理・調整させていただきます。
お客様にご記入いただいた本保証書は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

品　名	**シチズン ハンディプリンタ**	
型　番	**PD-22**	製造番号
お客様 お名前	様	TEL　-　-
ご住所	〒	
ご購入日	年　月　日	
ご購入店	(ご購入店を必ずご捺印ください)	
保証期間	ご購入日より1年間	

発売元 CITIZEN シチズン・システムズ株式会社
本社　〒188-8511　東京都西東京市田無町6-1-12
TEL.(0424)68-4771　FAX.(0424)68-4740

CITIZEN

シチズン・システムズ株式会社
本社　〒188-8511　東京都西東京市田無町6-1-12
TEL.（0424）68-4771　FAX.（0424）68-4740

代理店

Printed in China　PD74935-50F